

第1回

「気づく・知る・感じる」

人権のつどい

☆人権スタンプラリーの表彰  
☆ワークショップ(参加型学習)  
《テーマ》 身近な人権

5月8日(火)プラザ西伯で平成24年度の第1回南部町「気づく・知る・感じる」人権のつどいを開催しました。

今回は身近な人権をテーマに、履歴書の項目をヒントにしながら、参加者75名がグループ別で、にぎやかに語り合い「職業選択の自由」と「個人の尊重」について学び合いました。



様々な年代の方や、様々な立場の方がいらつしやいましたが、そのような隔たりを無くしてしまうワークショップがあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。  
(20代・女性)

個別的な視点からだけでなく普遍的な視点から物事を見ることに気づきました。履歴書に印を押すのは必要でしょうか。  
(30代・男性)

グループでのディスカッションだったので、意見が言いやすく、楽しくあつという間に過ぎた時間だった。『人権』と聞くと、重く難しいとかまえてしまうけど、このような形でのセミナーなら、入りやすく良いと思った。  
(30代・女性)

履歴書の内容を比較するだけでも、様々な違いに気づかされました。自分だけでなく家族でも話し合ってみたいと思います。  
(40代・女性)

参加者の感想を年代別に一部紹介します

(アンケートの回収63名)

出身地、国籍を堂々と語れるような世の中になって欲しいです。  
(50代・男性)

人権感覚を磨くことの重要性を感じた。人権といっても視点、立場が異なれば考えも違ってくる。しかし、どのような立場であれ、その人の磨かれた感覚は決して差別を生むことはないと思えるから。  
(60代・男性)

1970年代の履歴書と改善された履歴書を比べてみて、昔は必要の無い親の仕事や資産まで記入しなくてはいけなかった。これこそ差別だと思えます。両親が居なかった私はじめな思いもたくさんしました。  
(60代・女性)

履歴書の本筋 本人の能力次第人を人としてみた 共に生きる 人権のための教育の真骨頂を学んだ。いろいろなことを多彩に知るリアルタイムでした。  
(70代・男性)

人権スタンプラリーに参加して

「ミカエル」スタンプをあつめよう

「気づく・知る・感じる」人権のつどい・県内・県外で開催される人権研究会・講演会・地域で開催している人権学習会等で、人権・社会教育課でご案内している人権に関する事業が対象です。(台紙に押し忘れても受付がしてあればポイントになります)年間6回以上の参加者は、次年度の第1回「気づく・知る・感じる」人権のつどいで人権会議会長の町長が表彰します。  
※平成23年度の表彰者は個人54名・企業6社でした。

人権のつどい 開催日程のご案内

- 第2回「気づく・知る・感じる」  
人権のつどい(テーマ・男女共同参画)  
◆開催日/7月12日(木)午後7時30分  
◆会場/南部町公民館3階ホール  
◆講師/一盛 真さん(鳥取大学)
- 第3回「気づく・知る・感じる」  
人権のつどい(テーマ・同和問題)  
◆開催日/8月6日(月)午後7時30分  
◆会場/南部町公民館3階ホール  
◆講師/外川 正明さん(鳥取環境大学)